

項 目	4 森林空間を活用した「森林サービス産業」の推進について
答弁者	くらし・環境部長
質問要旨	<p>高齢化が進み、後継者不足などから農林業が衰退したため、間伐等の手入れが行き届かなくなった森林が増加するなど、人と森林との関わりが薄れているように感じる。</p> <p>一方、昨今のコロナ禍により、森林内でのアクティビティに目が向いている。この大きな流れを受け止める新たなビジネスを創出すれば、地域の雇用だけでなく、長い目で見れば森林の保全につながるのではないかと考える。</p> <p>地元森町では、マウンテンバイクの愛好家が、手作業でマウンテンバイクコース作りに着手し、この春にバイクパークとしてオープンした。森林の機能を維持することができるとともに、中山間地域の賑わい作りにも繋がる素晴らしい取組である。</p> <p>全国的に見ても、これまでの木材生産に加え、様々なアクティビティによる森林空間を活用した「森林サービス産業」への取組が創められている。</p> <p>本県においても、中山間地域の新たなビジネスチャンスとして森林サービス産業を推進する必要があると考えるが、県の所見を伺う。</p>

<答弁内容>

森林空間を活用した「森林サービス産業」の推進についてお答えいたします。

人々の暮らし方や働き方が見直される中、森林を木材生産の場としてだけでなく、新たに環境教育、観光、健康づくりなど様々な側面から活用する森林サービス産業への関心が高まっております。

県内では、議員御紹介の森町における取組をはじめ、NPO法人による森林空間を活用した環境教育や、林業家によるキャンプ場を核とした林業経営の6次産業化の取組なども進められ、県立森林公園では、指定管理者が企業の健康経営のための体験プログラムの開発などに取り組んでおります。

今後は、こうした流れを加速するため、森林活用の取組を広く情報発信し、利用者の関心に応えるとともに、意欲のある森林所有者と企業等との森林活用に向けた橋渡しや、国の支援制度に関する情報提供などを行い、取組を後押ししてまいります。あわせて、県有施設における森林空間の多面的活用について検討を進めます。

県といたしましては、森林活用の多様なニーズを的確に捉え、市町や関係団体と連携しながら、森林の適正な保全と地域の活性化にもつなげる森林サービス産業を積極的に推進してまいります。